

ジャパン ゴルフ インダストリー カップ



第6回 Japan Golf Industry Cup 2016 開催

10月18日、日本ゴルフ用品協会主催の第6回「インダストリーカップ」が、茨城県つくばみらい市にある茨城ゴルフ倶楽部（東・西コース）にて開催された。

ゴルフ関連企業24社2団体、計171名の選手が集結。今年で6回目を迎えた『インダストリーカップ』の開催にあたり、同実行委員会の馬場宏之会長は次のようにコメント。

「2011年の東日本大震災でゴルフの自粛ムードがあった中、ゴルフ業界の社員が積極的にゴルフをし、プレーの輪を広げていこうという主旨で企画がスタートしました。今年は特に女子のスクラッチ部門で、10社20名という例年の2倍のチームが参加し盛況でした。こうしたイベントを通じて、一人でも多くの方にゴルフへ触れていただけるように当協会では今年、ペアスクランブルを3支部で開催しました。また、先頃開催されたジャパンオープンでは4万6000人のギャラリーが訪れるなどゴルフの潜在的な人気を感じることができました。今後も皆様と一緒にゴルフ業界を盛り上げていきたいと思っておりますので、ご協力の程よろしくお願い致します」

競技は、アンダーハンディ部門（22社、2団体・26チーム）と男子スクラッチ部門（12社・12チーム）が1チーム4名（うち上位3名のスコアを採用）。女子スクラッチ部門（10社・10チーム）が1チーム2名の3部門で覇権を競った。

男子のスクラッチ部門団体戦は、フォーティーンがチームスコア222ストロークで見事優勝を飾った。フォーティーンの竹内佑太選手は、

「インダストリーカップの優勝は今回で2回目となります。来年以降も3回、4回と勝てるように技術と売上（笑）が上がるよう努力をして、ゴルフ業界へ少しでも貢献できるようにがんばります」

女子のスクラッチ部門ダブルス戦の優勝もフォーティーン。今年は過去最多の10チームが参戦、チームスコア69ストローク（33・36）で初優勝を飾った。上田尾幸選手とコンビを組んだ福田歩選手は、

「優勝の要因ですか？ ズバリ、パートナーの上田尾の活躍でしょう。頼りになる後輩です。来年も一緒に出場して連覇を狙いたい」

男子のアンダーハンディ部門団体戦は、ダンロップスポーツがチームスコア215・6ストローク（HDCP26・4）で優勝をさらった。チームリーダーの唐戸健一選手は、

「ダンロップスポーツでは今大会に向けて、多くの社員に参加してもらい、たくさんゴルフをしよう、という主旨で社内予選会を実施しました。業界人がゴルフをし、その楽しさを伝播する一。大会主旨に賛同すると同時に、来年もエンジョイゴルフで優勝できれば」

なお、競技結果は以下のとおり（男子スクラッチ、アンダーハンディは、チーム内上位3名のスコアを採用。女子は、ベストボール方式を採用）。

第6回 Japan Golf Industry Cup 2016 参加企業

（順不同 敬称略）24社（2団体含む）

名 称	6th Japan Golf Industry Cup 2016 ～ゴルフ関連企業対抗ゴルフ大会～	
開催日	[2016年10月18日]	
ミズノ	ゴルフ・ドウ	ヤマハ
ブリヂストンスポーツ	ヤマニ	テーラーメイドゴルフ
アクシネットジャパンインク	二木ゴルフ	日本シャフト
プロギア	フォーティーン	ヨネックス
グローブライド	ゴルフ用品界社	ゴルフダイジェスト・オンライン
ピンゴルフジャパン	キャロウェイゴルフ	ダンロップスポーツ
マルマン	藤倉ゴム工業	本間ゴルフ
柁出版	日研工業	ヤマト徽章
GMAC	JGGA	

結果

スクラッチ男子（団体戦）

順位	チーム名	トータル
優勝	フォーティーン	222ストローク
準優勝	ダンロップスポーツ	230ストローク
3位	ピンゴルフジャパン	231ストローク

スクラッチ男子（個人戦）

順位	名前	トータル
優勝	播磨 良輔氏（ヤマハ）	70ストローク
準優勝	本間 大稀氏（フォーティーン）	69ストローク
3位	柳原 光瑠氏（ダンロップスポーツ）	73ストローク

スクラッチ女子（2名1組ベストボール方式）

順位	チーム名	トータル
優勝	フォーティーン	69ストローク
準優勝	ヨネックス	73ストローク
3位	ニ木ゴルフ	76ストローク

アンダーハンディ部門（4名1組 チームの場合3名のネット合計）

順位	チーム名	グロス合計	HDCP合計	ネット合計
優勝	ダンロップスポーツ	242	26.4	215.6
準優勝	フォーティーン	223	7.2	215.8
3位	ヨネックスA	235	19.2	215.8